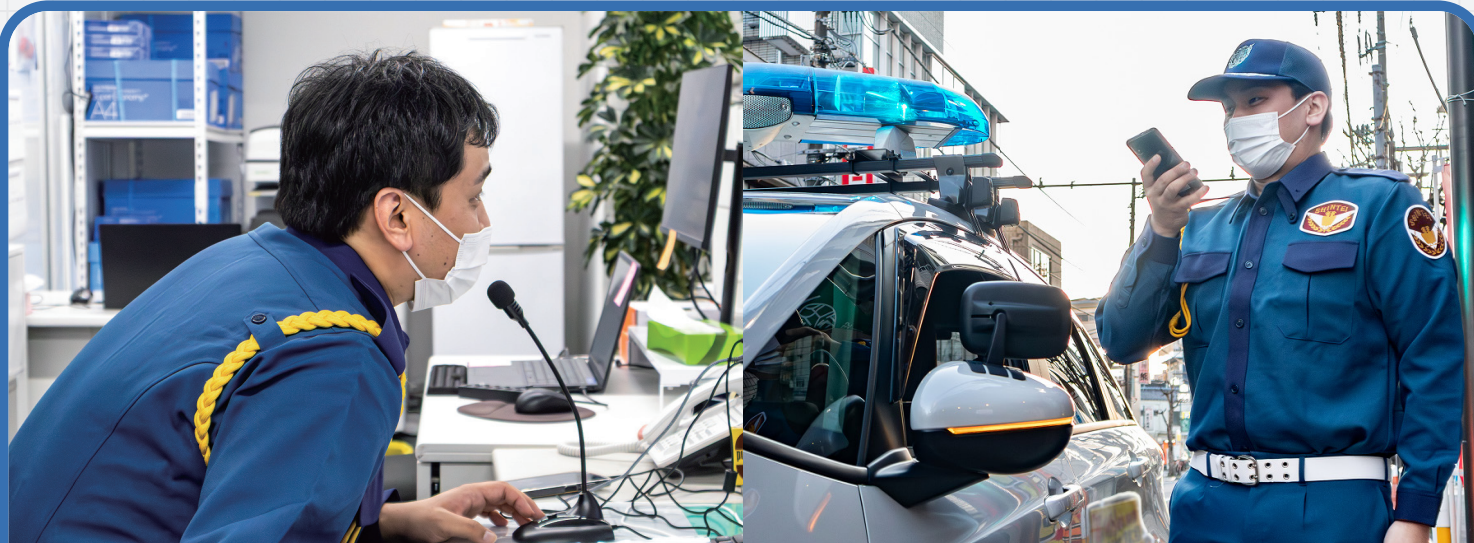




電話による位置確認の手間を削減 マップ機能と音声テキスト化で業務を効率化

シンテイ警備株式会社では、車両や徒歩での巡回時に迅速な情報共有と的確な指示出しを行うため、Buddycomを活用しています。街中を巡回する警備員と管理者をつなぐ連絡手段として運用しています。

これまで、巡回する警備員と管理者の連絡ツールはSMSや電話のみで、業務用スマートフォンは隊長など一部メンバーしか所持していなかったため、情報共有に時間がかかっていました。また、車両の位置情報を1台ずつ電話で確認してから指示を出す必要があり、指示出しに手間取っていました。

ウェアラブルカメラは録画用が中心で、ストリーミング用は高額なため十分な台数を確保できず、現場映像を事後の対応検証にしか活用できていないという課題もありました。

こうした課題に対し、マップ機能による位置把握とライブキャストによる現場映像のリアルタイム共有、通話履歴の音声テキスト化を評価しBuddycomを導入。管理者と現場の距離を縮め、質の高い迅速な警備対応を実現しています。



現場をリアルタイムに可視化

的確な指示と正確な報告で警備の質が向上

主な使用機能



マップ機能で車両の位置を瞬時に把握 指示を迅速化

巡回車両の運用では、以前は1台ごとに電話で位置を確認してから指示を出していたため、時間がかかっていました。導入後は、マップ機能を見るだけで車両の位置を瞬時に把握して連絡できるようになりました。車両を出す際や戻った際の連絡もBuddycomで完結し、日々の細かなやりとりが大幅に楽になっています。

ライブキャストと音声テキスト化で 対応と報告を強化

徒歩で巡回する警備員は、事件・事故の際にライブキャストで現場映像を共有し、管理者が目視して的確に判断、応援人員の要請もその場で行えます。悪質な事案も事前に映像で確認し最適な方法で対応できるように。日報作成時はテキスト化された通話履歴を見返せるため、より具体的で正確な報告書を簡単に作成でき、業務効率化が進んでいます。



導入前の課題

- SMSや電話のみの連絡で、情報共有に時間がかかっていた
- ウェアラブルカメラの映像をリアルタイムに確認できなかった
- 車両の位置情報を都度電話で確認する必要があり、指示出しに手間取っていた

ご担当者からの メッセージ



これまでは電話やSMS中心で状況の可視化が遅れていましたが、ライブキャストやマップ機能を活用することで、管理者が現場の映像や位置情報をリアルタイムに確認できるようになりました。悪質な事案への対応や人員要請などもその場ですぐに行えるようになり、質の高い迅速な警備対応が実現しています。また、通話内容がテキストで残るため、日報作成の具体性も向上し、業務全体の効率化に繋がっています。